

## 第三回会社訪問

10月15日 於 (有)篠原製作所

(有)日光電機製作所 今井琢也

今回は、キセイレン内で建設ラッシュが相次ぐ中で、引越し、したての製缶屋さんの新工場を、訪問させていただける事になりました。たまたまにも、新旧両工場が歩いて二分の距離に立地していたので、両方一度にみせてもらう事が実現できました。まず、旧工場に夜集合しました。もう電気も止められており、真っ暗な環境でしたが懐中電灯片手に、“肝試し”感覚で、今日までの、三十年余の歴史を、紐解いてもらいながら、凶柄を目に焼き付かせていきました。製缶工場として三十年という事もあってか、一面真っ黒で、また、地面も歴史の重みでモコモコして平らで無くなっており、もう既にカビ臭さとか、ネコの匂いがするとか、みんな無茶苦茶失礼な事を、口走りながら散策しました。次に、新工場に移動しました。今度は電気が煌煌と付いたカラフルな工場を、じっくり案内してもらいました。みんな、あまりの違いに”ウオー”とか”うっそー”とかよくわからん事を言いながら、まさにアッと驚いた瞬間に見えました。モトーンから、クリーミーなイエローに、ブルーのストライプを少し入れたひとときわ目立つ綺麗な外壁。中に入ればホワイト地に、グリーン、ブルー、危険個所には、オレンジでと。実にさわやかにコーディネートされており、まさにテレビの白黒からカラーへの変化と同じぐらいの衝撃的な光景でした。そんな、形でスタートし、その後様々な質問が飛び交いました。空間的には、2倍以上だったが、しかしながら、必要以上には、建築にコストをかけない試み、やってみてからわかった事。熱帯魚を置いてみたりと、働く場としての心のゆとりへの配慮など、様々な観点から、話を頂けたと思います。中でも、気になるお金の問題もズバツと解説してもらい、非常に皆さんと同様に、勉強になりました。お金の達人？衣川社長にも説明参加いただき新工場建設にあたっての、返済能力、資金ショートさせないための返済期間の設定、税金と、利益必要額の関係といった、深い次元での話を今回の場合やそれぞれの人に当てはめての、話を聞けて、とても良かったです。今まで、安易に、思っていたものとは、大きく違っていた事に、気付きました。傍目には、単純に、おめでとうですが、いざとなると規模が大きくなればなるほど、綿密な、計画と勉強が必要と痛感しました。以上、今回も、なかなか、いろんな意味で刺激の強い会社訪問でした。